

2022 年度事業報告

(2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日)

I 組織運営

1. 組織体制

(1) 会 員

正 会 員：49（個人・NPO：47、行政・企業：2）

協力会員：50（個人・NPO：49、行政・企業：1）

※2022 年 3 月末時点

(2) 事務局

【職員数】

40 名（職員：6 名、契約職員：12 名、パートタイム職員：22 名）

【事務局運営スタッフ】

NO	氏 名	勤務形態	役 職	役 割
1	松原 裕樹	職員	専務理事、事務局長、事業部長	事務局統括、事業統括、業務運営責任者
2	山本 祐二	職員	常務理事、総務部長	総務統括、業務運営責任者
3	増田 勇希	職員	プロジェクトマネージャー	業務運営責任者
4	香川 恭子	職員	プロジェクトマネージャー	業務運営責任者
5	松村 渉	職員	プロジェクトマネージャー	業務運営責任者

【業務運営スタッフ】

NO	事業名	事業所	スタッフ数
1	令和4年度中国環境パートナーシップオフィス（EPO ちゅうごく）管理運営等業務	広島市	職員：1 名、契約職員：4 名
2	JICA 中国 開発教育支援事業	広島市	契約職員：2 名
3	広島市地域子育て支援拠点事業等に係る補助事業（中区、南区）	広島市	契約職員：1 名、パートタイム職員：22 名
4	福山市まちづくりサポートセンター運営業務	福山市	契約職員：5 名

(3) 役 員

【役員数】

15 名（理事：13 名、監事：2 名）

【役員名簿】

役 職	氏 名	所 属	区 分
代表理事	安藤 周治	特定非営利活動法人ひろしまね 理事長	県北部
	中村 隆行	広島経済大学 スポーツ経営学科 准教授、興動館プロジェクトセンター長	NPO
副代表理事	三好 久美子	公益財団法人青少年育成広島県民会議 監事	県東部
	山本 一隆	中国新聞社会事業団 理事長	県西部
専務理事	松原 裕樹	特定非営利活動法人ひろしま NPO センター事務局長	NPO
常務理事	山本 祐二	特定非営利活動法人ひろしま NPO センター	NPO
理事	香川 恭子	特定非営利活動法人ひろしま NPO センター	NPO
	金谷 信子	広島市立大学国際学部 教授	学識経験者
	児玉 宏	特定非営利活動法人コーチズ 代表理事	NPO
	茶山 ちえ子	特定非営利活動法人 WAC 広島ふれあいセンター 理事長	NPO
	平尾 順平	特定非営利活動法人ひろしまジン大学	NPO
	遠山 勇希	特定非営利活動法人ひろしま NPO センター	NPO
	松村 涉	特定非営利活動法人ひろしま NPO センター	NPO
監事	久笠 信雄	弁護士	
	赤羽 克秀	公認会計士・税理士	

2. 通常総会の開催

（1）第 22 回通常総会

日 時	令和 4 年 6 月 18 日（土）10:00～12:00
場 所	アドバン・ビジネスカレッジ 第 1 会議室 （広島市中区中町 7-41 広島三栄ビル 6 階）
出 席 者	正会員 47 名中 37 名出席（うち、会場：9 名、オンライン：6 名、書面による表決：15 名、議長等への委任：7 名）
議 題	1）2021 年度事業報告及び決算報告（案） 2）2022 年度事業計画及び活動予算（案） 3）役員の選定
備 考	オンライン会議システム（Zoom）を併用したハイブリッド開催

3. 理事会の開催

(1) 第1回理事会

日 時	令和4年5月31日(火) 16:00~17:30
場 所	ひろしま NPO センター (広島市中区紙屋町1丁目6-1 紙屋町ギャラリー 303号室)
出 席 者	理事:8名、監事:1名
議 題	1) 2021年度事業報告及び決算報告 2) 2022年度事業計画及び活動予算 3) 役員の選任 4) ビジョン・中長期計画 2021-2030 の詳細検討
備 考	オンライン会議システム (zoom) を併用したハイブリッド開催

(2) 第2回理事会

日 時	令和4年9月28日(火) 16:30~18:00
場 所	ひろしま NPO センター (広島市中区紙屋町1丁目6-1 紙屋町ギャラリー 303号室)
出 席 者	理事:9名
議 題	1) 2022年度事業計画及び活動予算の進捗報告 2) 組織運営 3) 重点事業 4) その他
備 考	オンライン会議システム (zoom) を併用したハイブリッド開催

(3) 臨時理事会

日 時	令和4年11月1日(火)
場 所	ひろしま NPO センター (広島市中区紙屋町1丁目6-1 紙屋町ギャラリー 303号室)
出 席 者	理事:12名
議 題	1) コンプライアンス (職員の休職等に係る問題)
備 考	オンライン会議システム (zoom) を併用したハイブリッド開催

(4) 臨時理事会

日 時	令和4年12月6日（火）19:00～20:00
場 所	ひろしま NPO センター （広島市中区紙屋町1丁目6-1 紙屋町ギャラリー 303 号室）
出 席 者	理事：12 名
議 題	1）休職者への給与および傷病手当について 2）休職者の復職について 3）本件に伴う組織対応について
備 考	オンライン会議システム（zoom）を併用したハイブリッド開催

（５）第３回理事会

日 時	令和5年1月13日（金）18:00～19:30
場 所	ひろしま NPO センター （広島市中区紙屋町1丁目6-1 紙屋町ギャラリー 303 号室）
出 席 者	理事：8 名
議 題	1）2022 年度事業計画の進捗報告 2）2022 年度活動予算の進捗報告及び決算見込み 3）その他
備 考	オンライン会議システム（zoom）を併用したハイブリッド開催

（６）第４回理事会

日 時	令和5年3月27日（金）16:30～18:00
場 所	ひろしま NPO センター （広島市中区紙屋町1丁目6-1 紙屋町ギャラリー 303 号室）
出 席 者	理事：11 名、監事：1 名
議 題	1）2022 年度事業計画の進捗報告 2）2022 年度活動予算の決算見込み 3）その他
備 考	オンライン会議システム（zoom）を併用したハイブリッド開催

4. その他

（１）Hiroshima Future Party 2022

【目 的】ひろしま NPO センター設立記念日に正会員・理事・職員・スタッフが集い、取組事例の成果や課題及び最新情報の共有、意見交流等を行うことを通して広島や組織の未来を

語り合い中長期ビジョンに活かしていく事を目的とする。

- 【目 標】○組織を構成するみんながお互いを知りあう
○情報格差がなくなる（情報共有）
○明日からのモチベーションが高まる（一員としての誇りを持てるように）
- 【日 時】2022 年 11 月 1 日（火）10:30～13:00
- 【場 所】酔心本店（広島市中区立町 6-7）
- 【参 加 者】40 名（役員、職員、正会員）
- 【内 容】○ひろしま NPO センターの紹介（組織・事業概要、中長期ビジョン・計画）
○各部門の事業・スタッフ紹介
○交流タイム（フリップトーク、歓談）



（２）社労士顧問契約

岡崎社会保険労務士事務所（岡崎晃 社労士）と 2022 年 11 月～2023 年 10 月（※以後 1 年毎に契約更新を予定）の顧問契約を締結して、毎月 1 回の定例会議や日常的な相談を行い、労務の改善や整備を図った。

II 事業運営

1. 重点事業の実施内容

(1) 福山市まちづくりサポートセンターの受託運営



福山市まちづくりサポートセンターを受託運営（2022～2024 年度）し、福山の人材が中間支援機能を担うことができるような伴走支援や体制整備を行い、多様な主体が参画するまちづくりや地域課題・社会的課題の解決、サポートセンターの強化に取り組んだ。

① 運営体制

【センター長】 中尾圭

【スタッフ】坂本佳世、瀬戸房子、三浦孝子、小畑和正

②業務運営計画（一部抜粋）

まちづくりサポートセンターとは

- ・まちづくりに関わる方々の交流拠点
- ・市民活動の支援

【できること】

- ・スペースの利用／ロッカーやメールボックスの活用
- ・情報コーナー（チラシの掲出、団体情報の閲覧）
- ・市民活動のマッチング
- ・専門相談員による相談
- ・まちサポ情報メールの配信

A photograph showing the interior of the Machizukuri Support Center. The room is bright and open-plan, with large windows on the left side. There are several tables and chairs arranged for seating. A blue storage unit is visible on the right, and a small table with a blue stool is in the foreground. The floor is polished wood.

The diagram illustrates the flow of information and support from various community activities to the goal of 'Machi Sapo' (Community Support). At the top, a box states the goal: 「自分たちのまちは、自分たちでつくる」シビックプライドを持つ市民のまち・福山 (Our town is created by ourselves). Below this, four boxes represent different activities: お互いの活動や思いが見える (Activities and thoughts are visible to each other), 学び合いや協働が生まれる (Learning and cooperation are born), 多様な活動が生まれる (Diverse activities are born), and 自分にもできることがあると思える人が増える (More people think they can do something). These activities lead to three types of support: ウェブ・SNS (Web/SNS), セミナー・交流会・ワークショップ (Seminar/Exchange/Workshop), and 相談・支援 (Consultation/Support). Finally, all these elements lead to the bottom box: さまざまな人と情報が集まるまちサポ (Machi Sapo where many people and information gather).

```

graph TD
    A["「自分たちのまちは、自分たちでつくる」  
シビックプライドを持つ市民のまち・福山"]
    B1["お互いの活動や  
思いが見える"]
    B2["学び合いや  
協働が生まれる"]
    B3["多様な活動が  
生まれる"]
    B4["自分にもできる  
ことがあると思  
える人が増える"]
    C1["ウェブ・SNS"]
    C2["セミナー・交流会・  
ワークショップ"]
    C3["相談・支援"]
    D["さまざまな人と情報が集まるまちサポ"]

    B1 --> A
    B2 --> A
    B3 --> A
    B4 --> A
    C1 --> B1
    C1 --> B2
    C1 --> B3
    C1 --> B4
    C2 --> B2
    C2 --> B3
    C2 --> B4
    C3 --> B3
    C3 --> B4
    D --> C1
    D --> C2
    D --> C3
  
```

「自分たちのまちは、自分たちでつくる」
シビックプライドを持つ市民のまち・福山

お互いの活動や
思いが見える

学び合いや
協働が生まれる

多様な活動が
生まれる

自分にもできる
ことがあると思
える人が増える

ウェブ・SNS

セミナー・交流会・
ワークショップ

相談・支援

さまざまな人と情報が集まるまちサポ

[illegible]

運営体制

ひろしまNPOセンター

まちづくりサポートセンター

福山市
まちづくり推進課

福山市地域振興課

北部 中部 神辺
松永 南部 東部

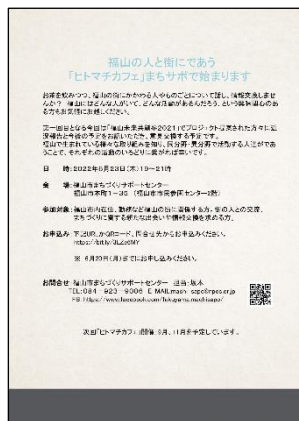
運営委員会

各種活動団体

団体単位 個人 企業

□ヒトマチカフェ

回	開催日時	テーマ
第1回	2022年6月23日(木) 19:00～21:00	福山未来共創塾 2021 近況報告会
第2回	2022年9月29日(木) 19:00～21:00	居場所づくり
第2.5回	2022年10月2日(日) 15:00～17:00	小商い、全国各地の小さな取り組み
第3回	2022年11月25日(金) 19:00～21:00	活動を楽しみ続けるコツ



□ヒトマチセミナー

回	開催日時	テーマ
第1回	2022年8月30日(木) 19:00～21:00	楽しみながら地域課題解決の方法を探ろう
第2回	2022年10月28日(金) 19:00～21:00	楽しみながら地域課題解決の方法を探ろう～福山版のツールを作ろう～
第3回	2022年12月2日(金) 19:00～21:00	楽しいチームのつくり方
第4回	2023年2月3日(金) 19:00～21:00	楽しい会議のつくり方(実践編)



□つれのうて NIGHT

毎月7のつく日(土日祝を除く) 19:00～21:00 に開催。

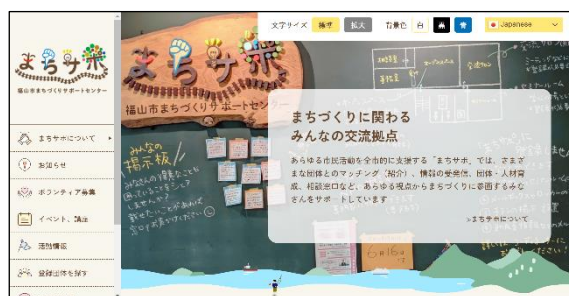


□福山市立大学の講義「都市社会実践演習Ⅱ」と連携したアンケート調査やフィールドワーク
※別紙「まちサポアンケート分析」参照。



□ホームページの開設

<https://fukuyama-machisapo.com/>

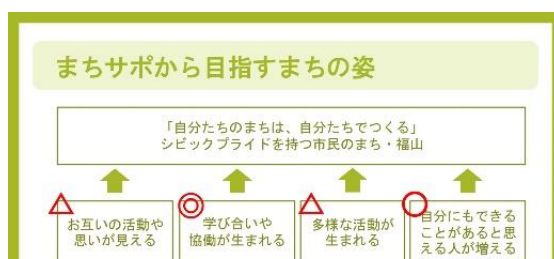


□ヒトマチラジオ

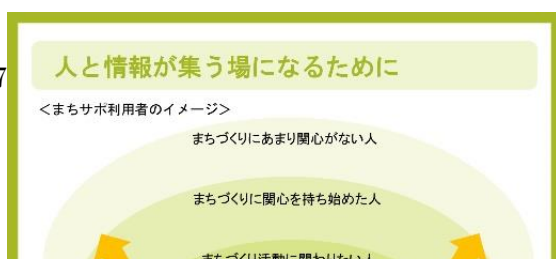
FM ふくやまと連携したまちづくり情報の発信。



④成果と課題



7



成果

- ・アンケートの実施によって、活動団体の活動状況と支援ニーズが見えた
- ・主催企画によって、新たな人材・団体を発掘できた
- ・主催企画によって、まちサポの認知度が向上した
- ・主催セミナーによって人材育成ができた
- ・Facebookページやウェブサイトを立ち上げ、運用し、まちづくりに関する情報発信を開始した
- ・福山市立大学との連携事業を実施した
- ・エフエムふくやまとの連携事業が構築できた

33

課題

- ・活動団体への状況把握が不十分である
- ・主催企画に対して登録団体の参加が少なく、求めるニーズに応えられていない可能性がある
- ・相談の多くが問い合わせ対応に終始し、伴走支援の実績にはつながっていない
- ・地域振興課とのつながりは持ったが、まちサポが地域に対してどのような支援ができるか

34

(2) スペシャルオリンピック広島 2022 の開催支援



2022 年 11 月に広島で開催された「2022 年度第 8 回スペシャルオリンピック日本夏季ナショナルゲーム・広島」に係るボランティア

アの募集やマネジメント運営の支援を行うことを通して、ボランティア文化の醸成や障害者の活躍促進、地域共生社会の実現を図った。

①ボランティア実行委員会

松原が実行委員長を務め、委員会を毎月開催（2021年9月から2022年11月まで計15回）しながら、ボランティアの募集やコーディネート、関係機関との連携、会場運営等の準備を進めた。

②ボランティア・チェックイン研修

4月に実施した採火式・分火式・トーチランのボランティア運営の課題を踏まえて、今後もコロナ禍でオンラインを中心とした運営になることから、ボランティアの把握や準備、関係者同士の意思疎通が不足することが懸念されるため、ボランティア・マネジメントのための企画を提案し実施した。

【目 的】様々な立場のボランティアの団結によって大会運営が成功すると共に、ボランティア自身のやりがいや達成感を促し、大会後も知的障害者の暮らしやスポーツ活動を支えるボランティア文化が根付くことを目指す。

【日 時】2022年9月22日（木）、23日（金・祝）、24日（土）

開催時間：①10:00～11:30、②13:30～15:00、③15:30～17:00

【場 所】広島県民文化センター6階 会議室（広島市中区大手町1-5-3）

【参 加 者】ボランティア登録者（大会スポンサー企業、企業、大学・学生、団体、一般）／48名

【運 営】スペシャルオリンピックス広島2022ボランティア委員会

【内 容】○ボランティア同士の交流（自己紹介）

○スペシャルオリンピックスの動画視聴、ボランティアの役割や今後の予定等の説明

○ボランティアの心がまえに係るミニレクチャー



③大会ボランティア運営

2022年11月4日（金）～6日（日）に開催された開会式、競技予選・決勝、表彰式、閉会式について、広島県内の8会場（広島市、呉市、三原市、北広島町）で延べ4,300名のボランティアによる大会運営を行った。



④ボラ写プロジェクト

【時 期】11月3日（木・祝）～6日（日） 大会前日～当日の撮影

11月20日（日）10:00～14:00 ボランティアふりかえり交流会&ボラ写展

【場 所】＜撮影＞

8会場（広島市、呉市、三原市、北広島町）

＜ボランティアふりかえり交流会&ボラ写展＞

ひろしま NPO センター事務所およびメタバース空間

【対 象】大会運営ボランティア

【運 営】ひろしま NPO センター、ソー写ルグッド

【内 容】プロボノのカメラマンにより一般ボランティアの活躍風景を写真撮影して、リフレクションムービーを制作し、「ボランティアふりかえり交流会&ボラ写展」にいてボランティアに報告共有した。



⑤ボランティア活動記録

当センターから提案したプロジェクトとして、スペシャルオリンピックス 2022 広島の大会運営を務めた4,300名のボランティアの活躍を動画に記録し、参加したボランティアに成果共有すると共に、次大会への引き継ぎやボランティア活動の周知啓発等に活用する。

【名 称】第8回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・広島

【音楽・協力】HIPPY

【企画・制作】特定非営利活動法人ひろしま NPO センター、ソー写ルグッド株式会社

【撮影・協力】荒井勇紀、加瀬幸多、宿野部隆之、藤原靖史、前原信吾、的場亮、汰木志保

【備考】©2022「2022 年第 8 回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・広島」
大会実行委員会（特定日家入活動法人スペシャルオリンピックス日本・広島）



（3）2023 年 G7 広島サミットに向けたプロジェクト



2023 年に日本で開催される G7 サミット首脳会議に市民社会の声を届けるため、県内外の NPO/NGO 等と連携してネットワークやプロジェクトを立ち上げ、各国政府への働きかけを行う。また、核兵器廃絶だけでなく、グローバルな優先課題をふまえた視点や議論を育み、持続可能で平和な社会を目指すための市民社会づくり

を推進した。

①G7 市民社会コアリション 2023

G7 のエンゲージメントグループのひとつである Civil7（市民社会）の運営及び政策提言等を行うための組織として、全国の NPO/NGO が結集したネットワーク組織「G7 市民社会コアリション 2023」を設立し、松原が共同代表を務めている。

□組織概要

【目 的】2023 年に日本で開催される G7 サミット首脳会議および関連閣僚会議に、市民社会の声が反映され、2030 アジェンダが掲げる「誰ひとり取り残さない社会」の実現に貢献できるよう、議長国である日本政府を含む G7 各国政府に働きかけることを活動目的とする。

【共同代表】木内真理子（特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン 事務局長）
松原裕樹（特定非営利活動法人 ひろしま NPO センター 専務理事・事務局長）

【幹事団体】14 団体

【共同事務局】特定非営利活動法人国際協力 NGO センター（JANIC）
一般社団法人 SDGs 市民社会ネットワーク

【会 員 数】団体会員：122 団体 個人会員：78 名

※2023 年 4 月 28 日時点、ひろしま NPO センター含む

【活動期間】2022 年 5 月 10 日～2023 年 12 月 31 日

【活動内容】1）日本国内外の市民社会と協力した G7 関連会合に対する政策提言
2）日本政府との面会およびサミット関連の情報収集
3）他のエンゲージメント・グループとの連携構築
4）グローバルな市民社会が開催する「C7 サミット」への協力
5 首脳会合開催地の市民社会との連携および「市民社会サミット」の開催
6）市民社会による活動の広報や啓発キャンペーン
7）その他、目的に資する活動

【備 考】▼G7 市民社会コアリション 2023Web サイト

<https://g7-cso-coalition-japan-2023.mystrikingly.com/#home>

□活動概要

毎週の事務局会議及び毎月の幹事会を開催する共に、会員募集や情報発信、ドイツ C7 からの引き継ぎ、外務省 G7 シェルパとの会合、C7 の運営委員会やワーキンググループの検討・運営、全国の閣僚会合開催地 CSO との情報交換会、政策提言書の首相手交の調整、C7 サミットの開催準備等を進めた。





②Civil7

2022年12月に18名(15か国)による運営委員会(Steering Committee)を設立し、ドイツC7からの引き継ぎ式(12月)及び日本C7キックオフイベント(1月)を開催した。

G7への政策提言書を作成するために、「核兵器廃絶」「気候・環境正義」「公正な経済への移行」「国際保健」「人道支援と紛争」「しなやかで開かれた社会」の6つのワーキンググループを構成し、72ヶ国(うち54か国はグローバルサウス)から700名以上が参加し議論した。



▼Civil7 Communique 2023 (英語版)

https://civil7.org/wpC7/wp-content/uploads/2023/04/C7_communique2023_0412.pdf

▼Civil7 政策提言書 2023 (日本語版)

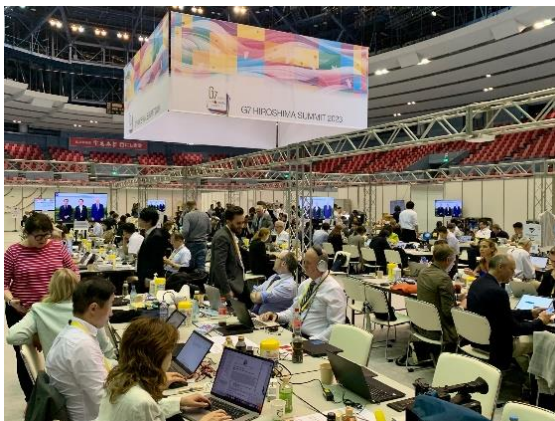
https://civil7.org/wpC7/wp-content/uploads/2023/04/C7_communique_JPN.pdf

※2023年4月12日(水)に、C7を代表して日本及び各国の市民社会代表者10名(広島から松原裕樹(ひろしまNPOセンター)と田中聡司(広島被爆者団体連絡会議)が代表して参列)が首相官邸を訪問し、G7広島サミットで議長を務める岸田文雄内閣総理大臣と対話し、「C7 Communique 2023 (C7 コミュニケ 2023: 政策提言書)」を手交した。

2023 年 4 月 13 日（木）～14 日（金）に東京プリンスホテル及びオンラインで「Civil 7 Summit 2023」を開催し、山田賢司外務副大臣への C7 政策提言書の手交、G7 サブシェルパを務める中村和彦外務省経済局審議官との対話、分野別ワーキンググループ分科会、エンゲージメントグループの連携対話、レセプション等を実施した。



※広島で開催された首脳会合の期間中を含む 5 月 18 日（木）～21 日（日）に、外務省と連携して広島市青少年センターに NGO スペースを設置し、国内外から広島に集まったマスメディアに対して、全国の NGO/NPO が 50 を超える記者会見やイベント、パフォーマンス等を開催し、市民社会のメッセージを世界に発信した。



③みんなの市民サミット 2023

首脳会合が開催される広島において、市民社会がこの機会をどのように活かすことができるか、呼びかけ人と共に NPO/NGO や関係団体が集い、市民サミットの企画・開催に向けて活動した。

□G7 広島サミット 2023 に向けた市民社会ミーティング及び広島市記者クラブでの記者会見

【日 時】2023 年 12 月 12 日（月）9:30～11:30

【場 所】対面会場：ひろしま NPO センター

オンライン：zoom

【参 加 者】19 名（NPO/NGO、被爆者団体、フリーランス、事業者など）

【呼びかけ人】渡部朋子（特定非営利活動法人 ANT-Hiroshima）

河野宏樹（特定非営利活動法人これからの学びネットワーク、特定非営利活動法

人環境パートナーひろしま)

平尾順平 (特定非営利活動法人ひろしまジン大学)

安彦恵里香 (ハチドリ舎、カクワカ広島)

松原裕樹、松村渉 (特定非営利活動法人ひろしま NPO センター)

【内 容】4月の開催を目標として、1～3月に参画者の輪を広げながら、実行委員会形式で「G7 広島市民サミット (仮称)」の企画準備や情報発信等を進める計画を協議した。

【備 考】同日に広島市役所記者クラブにて記者会見を行い、G7 サミットに向けた全国 (G7 市民社会コアリション 2023) と広島(市民サミット)の市民社会の取組を発表した。



□みんなの市民サミット 2023 実行委員会

2023年4月15日(土)～17日(月)に広島国際会議場をメイン会場として、「みんなの市民サミット 2023」を開催し、G7 サミットの主要議題に係るグローバルとローカルの問題に対するNPO/NGO の取組の情報交流や学び合い、市民が参加しやすいイベントや情報発信等を実施するため、県内外の市民社会組織や個人等から実行委員会を設立し、開催のための準備を進めた。

【共同代表】渡部朋子 (特定非営利活動法人 ANT-Hiroshima 理事長)

松原裕樹 (特定非営利活動法人ひろしま NPO センター 専務理事・事務局長)

金羽木百合枝 (視覚障害者団体 Blind クリエイター 【お好みーズ】)

【幹事団体】①特定非営利活動法人 ANT-Hiroshima／渡部朋子

②特定非営利活動法人環境パートナーひろしま／河野宏樹

③特定非営利活動法人ひろしまジン大学／平尾順平

④Social Book Cafe ハチドリ舎／安彦恵里香

⑤特定非営利活動法人ひろしま NPO センター／松原裕樹

⑥視覚障害者団体 Blind クリエイター 【お好みーズ】／金羽木百合枝

⑦広島 G7 芸術文化コンソーシアム／積山ミサ

⑧特定非営利活動法人市民活動センター西日本／胡田倫宏

⑨RiverDo!基町川辺コンソーシアム／岡本泰志

⑩平和創造クラブ「ひまわり」／伊藤さえみ

⑪広島被爆者団体連絡会議／田中聡司

⑫核政策を知りたい広島若者有権者の会／高橋悠太

⑬特定非営利活動法人シャプラニール＝市民による海外協力の会／小松豊明

【監 事】特定非営利活動法人シャプラニール＝市民による海外協力の会

【事務局】特定非営利活動法人ひろしま NPO センター

【賛同会員】団体・法人：44 団体、個人：29 名

【実施内容】1 月 27 日（金） G7 広島市民サミット（仮称）第 1 回企画ミーティング

2 月 24 日（金） 市民サミット（仮称）第 1 回実行委員会

3 月 7 日（火） 市民サミット（仮称）第 1 回幹事会

3 月 24 日（金） みんなの市民サミット 2023 第 2 回実行委員会

4 月 4 日（火） みんなの市民サミット 2023 第 2 回幹事会

4 月 7 日（金） みんなの市民サミット 2023 第 3 回実行委員会＆記者会見

□みんなの市民サミット 2023 の開催概要

【名 称】みんなの市民サミット 2023～G7 広島サミットに市民の声を届ける～

【目 的】2023 年に開催される G7 広島サミットを契機に、「核のない、誰ひとり取り残さない、持続可能な社会」を私たちの手で創ることを目的として、国内外の市民社会組織等が広島に集い、G7 サミットや社会課題に対する理解、市民の参加、NPO/NGO 等のアクション、ステークホルダーとの連携、政府への提言等を促すと共に「みんなの市民サミット 2023」を開催する。

【開 催 日】2023 年 4 月 16 日（日）～17 日（月）

【場 所】広島国際会議場（広島県広島市中区中島町 1-5）及び周辺施設（平和記念公園等）

※プログラムの一部はオンライン配信によるハイブリット開催を予定。

【対 象 者】2 日間で延べ 1,000 名（現地：500 名、オンライン：500 名）を想定

○G7 サミットや社会・地域課題に関心のある市民

○広島県内で G7 サミットに働きかけを行う市民団体や NPO/NGO

○全国・広島県内の NPO/NGO、NPO 支援センター、ネットワーク団体、関係機関

○市民社会組織のステークホルダー（ユース、企業・事業者、自治体、学校・教育機関、大学・研究機関、議員）

○G7 市民社会コアリション 2023 会員（団体、個人）

○全国各地の閣僚級会合に関連する市民社会組織

○G7 サミットのエンゲージメントグループ（Civil 7、Think 7、Youth 7、Women 7、Labour 7、Science 7、Business 7）

○マスコミ・メディア関係者（世界、全国、広島） など

【主 催】みんなの市民サミット 2023 実行委員会

【共 催】G7 市民社会コアリション 2023、特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム、中国環境パートナーシップオフィス、中国地方 ESD 活動支援センター

【後 援】外務省、内閣府、広島サミット県民会議、広島県、広島市

【来 賓】広島県知事：湯崎英彦様

広島市長：松井一實様

外務省：日下部英紀様（国際協力審議官）、国際協力局民間援助連携室

広島市：阪谷幸春様（市民局長）

<https://hiroshimacsummit2023.mystrikingly.com/>

みんなの
市民サミット
2023

2023/4/16(土) 4/17(日)

公益財団法人宮崎県民生活協会の協賛で
宮崎県民生活協会の協賛で

[illegible]

G7サミット
2023年11月19-21日
広島市で開催

🇺🇸 🇬🇧 🇫🇷 🇪🇺 🇮🇹 🇯🇵

対話・収束語言など

C7
国内外的なG7サミットが環境 経済 保健など幅広い課題を議論

「G7サミット」

広島で
「市民社会サミット（仮称）」

市民による
さまざまな活動

国際的な課題 C7が提言へ

2023
広島
サミット

環境や人道支援テーマ NPO・NGO・個人が有志集合

広島市で来年5月にある先進7カ国首脳会議（G7サミット）に向け、市内のNPO法人や非政府組織（NGO）が、地球環境や人道支援といった国際的な課題について学びを深める活動を開始した。G7サミットの前に最大規模となる国際会議（「C7サミット」）を運営する中、Cは「Civil」 Society（市民社会）の頭文字。広島での議論なども含まれ、各国政府への政策提言をまとめる計画だ。（久保友美朗）

ドイツでのC7サミットがまとめた原簿書を参考に、今後の議論に向けて市民社会の提言をまとめる。Cは「Civil」 Society（市民社会）の頭文字。広島での議論なども含まれ、各国政府への政策提言をまとめる計画だ。（久保友美朗）

「G7サミット」は、先進7カ国（アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、日本、カナダ）の首脳が参加する国際会議で、今年11月19-21日、広島市で開催される。この機会に、市民社会の声を届ける「市民社会サミット（仮称）」が企画されている。

「G7サミット」は、先進7カ国（アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、日本、カナダ）の首脳が参加する国際会議で、今年11月19-21日、広島市で開催される。この機会に、市民社会の声を届ける「市民社会サミット（仮称）」が企画されている。

「G7サミット」は、先進7カ国（アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、日本、カナダ）の首脳が参加する国際会議で、今年11月19-21日、広島市で開催される。この機会に、市民社会の声を届ける「市民社会サミット（仮称）」が企画されている。

「G7サミット」は、先進7カ国（アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、日本、カナダ）の首脳が参加する国際会議で、今年11月19-21日、広島市で開催される。この機会に、市民社会の声を届ける「市民社会サミット（仮称）」が企画されている。

[illegible]

政策提言書作成や催し

NPOTから 首脳会議へ活動計画

97

広島サミット 2023

平和活動に取り組む組むNP
O法人のトップから6人が12
日、広島市役所で記者会見
を開き、来年5月に市内で
開かれる先進7か国首脳会
議（G7サミット）に向け
た活動計画を公表した。

来年1〜3月に核兵器廃
絶や気候変動などの政策提
言書を作成するほか、4月
には国内外の市民団体が国
際的課題を話し合うインベ
ンを広島と東京で開催す
る。

イベントはいずれも2日
間を想定し広島で開く「市
民社会サミット（仮称）」
は4月15〜16日を軸に議
覧、東京では同17、21日の

間、オンラインを組み合わ
せた同様の市役所サミットを
企画している。

記者会見に出席したNP
O法人「ANT Hiro
shima」（広島市中区
の経営男子理事長は「世帯
に核兵器の実態がまきま
だわっている。サミット
では本場の広島のメッセ
ージを届けたいと話した

2022 年 12 月 13 日読売新聞

2022 年 12 月 13 日中国新聞

[illegible]



広島サミット
5/19~21

核のない社会を共に

みんなの市民サミット宣言案

広島で開幕 10カ国超700人参加

広島市で7月にある先導「カ国首脳会議（G7サミット）」を前に、広島県内外の市民団体が企画した「みんなの市民サミット」が17日、中区の広島国際会議場で2日間の日程を終え閉幕した。市民が16日から核廃絶や気候変動などの課題を話し、「核のない誰も取り残さない持続可能な社会を共につくる」などとする共同宣言案をまとめた。

市民サミットは子育や防災などを含む7テーマで分科会を開催。米、フランス、イタリア、インドなど10カ国以上から700人余りが集い、国際情勢や地域の課題を学び合った。閉幕行事では分科会の議論を踏まえ、寒さの共同代表であるNPO法人ひろしまPEOPセンタ―（中区）の松原裕樹事務局長たちが「弱き立場の人と共に生き、安心できる対話をつくり続ける」などの内容を盛り込んだ共同宣言案を発表した。

来春までに宣言を作成させ、市民の声として神田文雄首相に届ける。共同代表の一人NPO法人Anti-Hiroshima 中央区の渡部朋子理事長は「

ローカルな問題とローカルな問題がながついていると多くの人が実感できないうちに、今回、議論したことを世界を変える力にしたい」と話した。

2023 年 2 月 9 日
中国新聞 SELECT

2023 年 4 月 18 日中国新聞
※新聞・テレビ・Web・SNS 等の 50 を超えるメディアに掲載。



2023 年 5 月 27 日中国新聞

2. 各種事業の実施内容

4 つの事業方針に基づき、2022 年度は、ステークホルダーとのコミュニケーションを促進する事業が 6 事業（うち継続：5、新規：1）、組織力・担い手を育成する事業が 17 事業（うち継続：13、新規：4）、市民社会連帯を強化する事業が 11 事業（うち継続：9、新規：2）、社会的インパクトを創出する事業が 7 事業（うち継続：5、新規：2）、計 41 事業（うち継続：32、新規：9）を実施した。

（1）ステークホルダーとのコミュニケーションを促進する事業

ステークホルダーとの対話や関係構築を推進し、市民セクターの存在意義や成果に対する理解促進、持続可能な社会づくりのための課題共有や目標形成を図った。

①実施概要

NO	区分	事業名	事業内容	期間	場所	収益
1-1	継続	情報収集・発信	NPO 支援に関するイベント・助成金・施策等の情報収集や、ホームページ・Facebook・ニュースレター等を通じた発信。	年間	全国	自主財
1-2	継続	データベース構築・活用	各地の団体・取組・課題等の情報の記録・整理や、事業推進のためのデータ活用。	年間	全国	自主財
1-3	継続	相談対応業務	NPO・ボランティア・市民活動に関する各種相談の対応。	年間	全国	自主財
1-4	継続	委員等の派遣	各主体から依頼のある委員会・協議会等への委員派遣。	年間	全国	自主財、謝礼金
1-5	継続	ひろしま未来交流会	立場・分野・地域・世代をこえて広島を語り合う交流会の企画運営。	年間	県内	自主財
1-6	新規	ガレリア事務所	新しい拠点を活用した情報交流の促進や新規事業の企画創出。	年間	県内	自主財

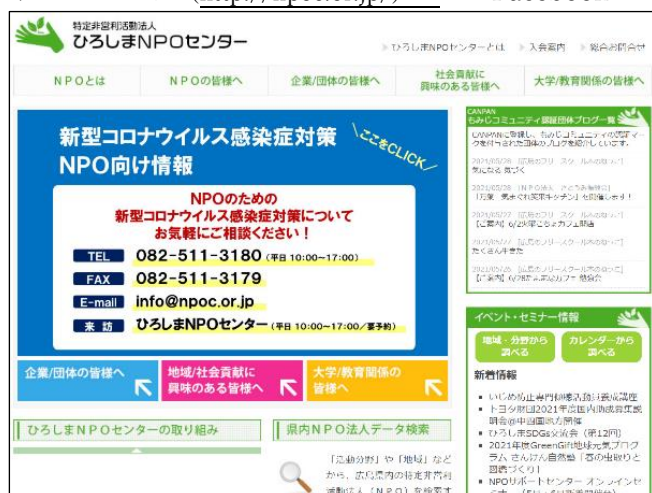
②実施結果

▶1-1 情報収集・発信

NPO に係る活動や支援の状況、主体間ネットワークの形成に資する情報等を収集した。収集にあたっては、NPO・行政（国、県、市町村）・企業等の報道発表資料・関連刊行物・報告書、必要に応じマスコミやインターネットの情報、メルマガ等を活用するとともに、関係団体・機関との情報交流を実施した。

また、ホームページを通して、広島県内で実施される各主体の行事、補助金・助成金情報等、NPO 活動に関わる団体等の基盤強化、連携強化に資する情報を発信すると共に、Facebook ページを活用して主催行事や協力事業、活動状況を中心に情報発信を展開した。

<ホームページ (<http://npoc.or.jp/>) > <Facebook ページ (<https://www.facebook.com/hiroshima.npoc>) >



▶1-3 相談対応業務

NPO・ボランティア・市民活動等に関する各種相談に対応した。

OUTPUT 相談件数：**312** 件

OUTCOME NPO 等が抱える課題解決やステークホルダーとの連携創出

▶1-4 委員等の派遣

関係機関から依頼のあった委員会・協議会等に人材を派遣して参画し、取組への助言や協力、多様なステークホルダーとの対話交流を行った。

OUTPUT 派遣参画した機関：**67** 主体

OUTCOME 関係機関の取組への助言・協力や多様な主体との対話交流

<委員等派遣の内訳>

担当者	役割／名称／主催
安藤 周治	【理事長】 特定非営利活動法人ひろしまね 【理事】 作木観光協会副会長 【理事】 三次広域商工会 【理事】 一般社団法人 みよし観光まちづくり機構 【理事】 コミュニティ政策学会 【評議委員】 公益財団法人マツダ財団 【座長】 水源地域支援ネットワーク運営会議／国土交通省 【審査委員長】 水の里の旅コンテスト／国土交通省 【副会長】 ローカル・マニフェスト中国運営委員／ローカル・マニフェスト推進ネットワーク中国 【委員】 新たな担い手等による水源地域在り方検討会／国土交通省 【委員】 広島県河川整備基本方針等検討委員会／広島県（河川課） 【委員】 さとやま未来円卓会議／広島県（中山間地域振興課） 【委員】 へいわ創造機構ひろしま（HOPe）／広島県（平和推進プロジェクトチーム） 【評価委員】 過疎地域等自立活性化交付金事業／総務省 【評価委員】 集落ネットワーク圏形成事業／総務省 【幹事】 ひろしま国際交流サミット／公益財団法人ひろしま国際センター 【大使】 北海道むかわ町大使

	【就任】中山間地域コーディネーター&アドバイザー／山口県 【就任】地域力創造アドバイザー／総務省 【就任】青少年育成指導者／公益社団法人青少年育成広島県民会議 【認定】地域活性化伝道師／内閣府
中村 隆行	【共同代表】日本ファンドレイズ協会中国チャプター 【理事】自治労 自治研究センター／全日本自治団体労働組合 【副会長】広島県障がい(児)者と手をつなぐ県民会議 【評議員】公益財団法人広島県男女共同参画財団 【評議員】社会福祉法人広島県社会福祉協議会 【評議員】社会福祉証人広島市社会福祉協議会 【監事】社会福祉法人もみじ福祉会 【監事】東日本大震災広島避難者の会アスチカ 【監事】特定非営利活動法人子どもコミュニティネット広島 【評価委員】岡山県ボランティア・NPO 活動支援センター 【幹事】中国地域コミュニティビジネス/ソーシャルビジネス協議会 【委員長】江田島市まちづくり助成金審査委員会／江田島市 【委員長】広島県高陽東高等学校運営協議会／広島県教育委員会 【役員】広島県プラチナ世代支援協議会 【委員】呉市市民協働推進委員会／呉市 【委員】呉市住民自治組織あり方検討委員会／呉市 【委員】道の駅再整備基本計画策定検討委員会／安芸太田町 【委員】社会課題解決プロジェクト広域テーマ募金検討委員会／社会福祉法人広島県共同募金会 【委員】福祉サービスに対する苦情処理第三者委員／社会福祉法人広島県社会福祉協議会 【審査委員】広島県ユネスコ協会 ESD 大賞（学校部門） 【認定】地域活性化伝道師／内閣府
三好 久美子	【副会長】広島県博物館協議会 【監事】公益社団法人青少年育成広島県民会議 【委員】尾道市協働のまちづくり委員会／尾道市
児玉 宏	【委員】広島市共同労働審査委員会
松原 裕樹	【副議長】広島市災害ボランティア活動連絡調整会議／広島市（市民活動推進課） 【委員】広島県環境審議会／広島県（環境政策課） 【委員】広島県社会福祉協議会ボランティア活動・福祉教育推進委員会／社会福祉法人広島県社会福祉協議会 【選考委員】RCC ラブ・グリーン賞／株式会社中国放送 【委員】三原市市民協働推進委員会／三原市（地域企画課） 【委員】地域の実情を踏まえた体験活動事業（特色化事業）に関わる実行委員会／国立江田島青少年交流の家

	【委員】こくみん共済 coop 地域貢献助成審査委員会／こくみん共済 coop 中四国統括本部 【委員】環境パートナーシップオフィス等運営委員会／地球環境パートナーシッププラザ・関東環境パートナーシップオフィス 【幹事】へいわ創造機構ひろしま (HOPE)／広島県 (平和推進プロジェクトチーム) 【審査員】福山市協働のまちづくり事業審査会委員／福山市 (まちづくり推進課) 【審査員】イオンチアーズクラブサミット中四国大会 (審査会)／イオンリテール株式会社中四国カンパニー 【認定】地域活性化伝道師／内閣府
山本 祐二	【委員】広島県医療費適正化計画検討委員会／広島県 (医療介護保険課) 【委員】公益信託広島市まちづくり活動支援基金運営委員会／株式会社広島銀行 (アセットマネジメント部)
松村 渉	【委員】「もったいない」をつないでいく会議／広島市社会福祉協議会 【委員】広島市における生活困窮者支援体制構築のためのプラットフォーム整備事業／広島市健康福祉局保護自立支援課 【委員】大原学園教育課程編成委員／大原ビジネス公務員専門学校広島校
増田 勇希	【委員】広島県被災者生活サポートボラネット推進会議委員会／社会福祉法人広島県社会福祉協議会 【委員】広島県地域福祉計画策定委員／広島県 (共生社会推進課)
香川 恭子	【構成員】広島市ボランティア情報センター運営委員／社会福祉法人広島市社会福祉協議会 【構成員】広島市社会福祉協議会第8次福祉計画策定委員／社会福祉法人広島市社会福祉協議会
濱長 真紀	【委員】令和4年度広島県教科図書選定審議会委員／広島県教育委員会 【委員】令和4年度広島県生涯学習審議会／広島県教育委員会

▶1-5 ひろしま未来交流会

立場・分野・地域・世代の垣根をこえて広島の未来を語り合う交流会を開催 (毎月第2金曜日) した。

OUTPUT 実施回数：11 回 参加者数：延べ 159 名

OUTCOME マルチステークホルダーの対話機会の促進

<実施概要>

回	日程	参加者数	意見交換テーマ
第87回	2022年 4月8日 (金) 19:00～21:00	9名	贈ろう森プロジェクト／シェアリンク広島／広島へ行く／戦争の反対ではない平和／広島の伝統工芸／広島の未来／広島の夜景

第88回	5月13日（金） 19:00～21:00	15名	どんな本屋なら行きたい？／若者はユウウツ!?／健康 寿命を延ばすためには／人口減少（転出）／動画制作
第89回	6月10日（金） 19:00～21:00	11名	社会起業家／核兵器禁止条約締約国会議／美味しい珈 琲屋さん／企業家教育／物価上昇／瀬戸内海の文化
第90回	8月19日（金） 19:00～21:00	14名	地域の文化を守り育てる／広島に行ってほしい場所／ メタバース×〇〇／原爆の日／原爆以外の広島／医療 費の下げ方
第91回	9月9日（金） 19:00～21:00	14名	今の広島をどう思う？／世界の環境汚染を改善するた めに広島から何ができるか／シューマッハカレッジの 事例から／通園バスの事故から日本を考える／円安と 物価高を個人としてどう立ち向かうか
第92回	10月14日（金） 19:00～21:00	13名	消毒液／もみじまんじゅう／広島の団体（保健福祉、 ぴあサポート、メンタルヘルス、障害者）を教えて！ ／ナルシスト第1位／札幌広福／仕事の理不尽にどう耐 えてきたか／ユーザー目線の車
第93回	11月11日（金） 19:00～21:00	17名	災害時におけるペットの避難／マイナンバーの使いこ なし方／行きたい場所／バスの置き去り問題／就活／ 最期の晩餐／食品ロス対策
第94回	12月9日（金） 19:00～21:00	14名	感覚のチェンジ／サッカースタジアムを盛り上げる方 法／流川の活性化／図書館に期待するもの／広島なら ではの遊び／B型の異業種連携
第95回	2023年 1月13日（金） 19:00～21:00	13名	初詣どこに行った？／加藤友三郎のイベント／多文化 共生／街全体で輝きたい／ゲーム害／おばあちゃんを 通院させる方法／学校図書
第96回	2月10日（金） 19:00～21:00	19名	今住んでいる家で必要な家電／広島の転出のナゾ／長 崎の平和運動／ウクライナの戦争に何ができるか／広 島の食料事情／首相秘書官の差別発言からLGBTを考 える
第97回	3月10日（金） 19:00～21:00	13名	起業についての認識／尊厳死と安楽死／G7サミットの 3日どうする？／35歳以下の集まる所／核兵器廃絶／ 100回記念どうする？

※7月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を延期した。

（２）組織力・担い手を育成する事業

NPO の組織基盤やガバナンスの強化を促し、持続可能な地域づくりを担う実践者や支援者の育成、ユースの活躍創出を図った。

①実施概要

NO	区分	事業名	事業内容	期間	場所	収益
2-1	継続	ひろしま NPO サポート倶楽部	ゆうちょ銀行の口座寄付を財源とした NPO への助成金配分。	年間	県内	寄付金
2-2	継続	ろうきん NPO 寄付システム	中国労働金庫の口座寄付を財源とした NPO への助成金配分。	年間	県内	寄付金
2-3	継続	NPO 事務局センター・NPO 事務支援カンファレンス	全国の NPO 支援センターと連携した、NPO の事務・経営支援。	年間	全国	自主財・利用料
2-4	継続	非営利組織の会計サポート	非営利組織の事務運営力の向上のために、会計や税務に関する相談対応、経理代行のサポート等を行う。	年間	県内	自主財・利用料
2-5	継続	協力・後援・連携事業の推進	各主体から依頼のある会議・行事等への参加や開催協力。	年間	全国	自主財ほか
2-6	継続	講師等の派遣	各主体から依頼のある研修会・フォーラム等への講師派遣。	年間	全国	自主財・謝礼金
2-7	継続	廿日市市市民活動相談業務	廿日市市市民活動センターの相談窓口業務の支援。	年間	廿日市市	受託料
2-8	継続	JICA 中国開発教育支援事業	JICA 中国と連携した国際協力の担い手育成のためのプログラム企画や施設展示、広報等。	年間	中国地方	受託料
2-9	継続	Green Gift 地球元気プログラム 2021-2022	東京海上日動火災保険株式会社・日本 NPO センター等と連携した、親子向けの環境保全活動の伴走支援。	年間	中国地方	受託料
2-10	継続	2023 年度地球環境基金助成金説明会の開催に係る業務（中国地区）	地球環境基金の助成金説明会（中国地区）の開催及び助成金審査に係る情報提供等を行う。	年間	中国地方	受託料
2-11	継続	廿日市市避難行動要支援者避難支援事業アドバイザー業務	地域における避難行動要支援者に係る避難支援体制の構築を支援する。	10～3月	廿日市市	受託料
2-12	継続	子育て支援人材育成事業	子育て支援員や企業等の子育て支援ボランティア、子育て支援団体に必要な人材を育成する。	年間	県内	自主財、謝礼金、利用料
2-13	継続	インターンシップを通じたユース等の人材育成事業	大学生等を対象としたひろしま NPO センターのインターンシップの受入による人材育成。	年間	県内	自主財
2-16	新規	かめのり塾	地域の担い手に必要な多文化共	1～3	中国・	受託料

			生分野の知識と、組織や事業のマネジメントに必要なスキルを学ぶ研修を開催する。	月	四国地方	
2-15	新規	2022 年度 JICA 中国青年研修事 (東ティモール)	行政官の人材育成を図るとともに、研修等を通して市民の国際理解、地域の国際化に寄与する。	1～3 月	中国地方	受託料
2-16	新規	2022 年度 JICA 中国青年研修事 (アフリカ)	行政官の人材育成を図るとともに、研修等を通して市民の国際理解、地域の国際化に寄与する。	1～3 月	中国地方	受託料
2-17	新規	2022 年度 JICA 中国青年研修事 (ヨルダン・トルコ)	行政官の人材育成を図るとともに、研修等を通して市民の国際理解、地域の国際化に寄与する。	1～3 月	中国地方	受託料

②実施結果

▶2-1 ひろしま NPO サポート倶楽部

株式会社ゆうちょ銀行と連携した寄付募集及び NPO 法人への助成金配分を行った。

OUTPUT 助成団体：4 団体 助成総額：200,000 円

OUTCOME NPO の財政基盤整備

<助成概要>

NO	団体名	所在地	助成額
1	NPO 法人令和花のチカラ研究所	広島市	50,000 円
2	NPO ひろしまレクリエーション協会	広島市	50,000 円
3	NPO 法人グリーンラインを愛する会	福山市	50,000 円
4	NPO 法人ベトナム友の会ーヒロシマ	広島市	50,000 円

▶2-2 ろうきん NPO 寄付システム

中国労働金庫の NPO 寄付システムと連携した寄付募集及び NPO 法人への助成金配分を行った。

OUTPUT 助成団体：6 団体 助成総額：300,000 円

OUTCOME NPO の財政基盤整備

<助成概要>

NO	分野	団体名	所在地	助成額
1	保健・医療・福祉	NPO 法人コーチズ	広島市	50,000 円

2	保健・医療・福祉	NPO 法人 ひろしまレクリエーション協会	広島市	50,000 円
3	子どもの健全育成	NPO 法人 子どもコミュニティネットひろしま	広島市	50,000 円
4	子どもの健全育成	NPO 法人広島水球クラブ	広島市	50,000 円
5	環境保全	NPO 法人グリーンラインを愛する会	福山市	50,000 円
6	国際協力	NPO 法人ベトナム友の会ーヒロシマ	広島市	50,000 円

▶2-7 廿日市市民活動相談業務

廿日市市民活動センターの相談業務の支援。団体設立、資金調達、助成金・支援制度、組織・活動運営等の相談対応を行った。

OUTPUT 実施概要：毎月第 2・4 木曜日 相談対応：16 件

OUTCOME NPO・市民活動団体の課題解決

▶2-10 助成金説明会等の開催

助成財団等と連携して NPO 向けの助成金説明会等を開催した。

OUTPUT 助成金説明会の開催：1 回 延べ参加者：8 名

OUTCOME NPO の財政基盤整備

<2023 年度地球環境基金助成金説明会（中国地方）>

【日 時】令和 4 年 10 月 25 日（火）16:00～18:00

【場 所】ひろしま NPO センター（広島県広島市中区紙屋町）、オンライン会議併用

【参 加 者】計 8 名（内訳 公益財団法人：1 名、NPO 法人：2 名、一般社団法人：3 名、大学：1 名、その他：1 名）

【主 催】独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金部

【協 力】中国環境パートナーシップオフィス、中国地方 ESD 活動支援センター、特定非営利活動法人ひろしま NPO センター

【講 師 等】上園由起／縁パワーしまね コーディネーター

藤原園子／公益財団法人 水島地域環境再生財団 事務局長

森田桂治／特定非営利活動法人 アーキペラゴ 副理事長

谷尚真・武内里実／独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金部

【概 要】助成金の活用事例紹介と助成金説明会の 2 部構成。活用事例紹介では、地球環境基金助成金で設定されている複数の助成メニューについて理解を深めるとともに、団体の活動の広がりやそれに応じた助成メニューの効果的な選択による相乗効果について、

事例をもとに紹介した。

(3) 市民社会連帯を強化する事業

市民セクターのエンパワメントを高めるためのパートナーシップを形成し、立場・地域・分野・世代をつなげるコーディネーションや中間支援機能の拡充を図った。

①実施概要

NO	区分	事業名	事業内容	期間	場所	収益
3-1	継続	ひろしま「山の日」県民の集い実行委員会事務局	広島県・市町・環境団体等と連携した県民参加の森づくり運動の実行委員会事務局。	年間	県内	受託料
3-2	継続	サテライトキャンパスひろしま	教育ネットワーク中国と連携したサテライトキャンパスひろしまの運営や会議室を活用した交流支援。	年間	広島市	自主財
3-3	継続	東日本大震災県外自主避難者等への情報支援事業	中国5県のNPO支援センターやひろしま避難者の会アスチカと連携した避難者への支援活動。	年間	中国地方	自主財
3-4	継続	中国5県中間支援組織連絡協議会	中国5県のNPO支援センターと連携した情報・ノウハウ・人材交流や、中国5県の共通課題を解決するための協働取組の展開。	年間	中国地方	自主財
3-5	継続	令和4年度中国環境パートナーシップオフィス(EPO ちゅうごく)管理運営等業務	環境省との協働による、中国地方の環境パートナーシップ拠点・中国地方ESDセンターの運営や協働取組・ESDに関する事業の推進。	年間	中国地方	受託料
3-6	継続	SDGs推進のための事業	広島県(SDGs未来都市)や各主体と連携したSDGs推進のためのネットワーク形成や交流機会、協働取組等の実施。	年間	全国	自主財・受託料
3-7	継続	被災地支援-PWJ	西日本豪雨の復興活動を通して形成されたNPOによる、被災者の交流や地方防災力強化に係る活動を支援する。	年間	県内	助成金
3-8	継続	スペシャルオリンピックス	2022年度第8回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナル	年間	県内	自主財

			ゲーム・広島で開催に係るボランティア募集・運営の支援。			
3-9	継続	第 8 回ボランティア交流サミットひろしま	広島県社会福祉協議会と共催して、ボランティア活動に係る団体や個人が集い交流や情報交換を行う機会を企画・運営する。	年間	県内	自主財
3-10	新規	福山市まちづくりサポートセンター運営業務	多様な主体が参画し、地域課題・社会的課題の解決を行うため、福山市まちづくりサポートセンターの運営や強化を行う。	年間	福山市	受託料
3-11	新規	2023 年 G7 広島サミットに向けたプロジェクト	2023 年に日本で開催される G7 サミット首脳会議に市民社会の声を反映するため、県内外の NPO/NGO 等と連携して各国政府に働きかける。	年間	全国	自主財

②実施結果

▶3-5 令和 4 年度中国環境パートナーシップオフィス管理運営等業務

環境教育等促進法や ESD 国内実施計画で規定する役割を踏まえて、多様な主体による協働・連携の取組を広げることで、環境保全活動の活性化や地域循環共生圏の形成、ESD の推進を図る。

<EPO ちゅうごく>

OUTCOME

全国モデルとなる地域循環共生圏プラットフォームの構築

企業、自治体、ユース、マスコミ等とのパートナーシップの拡充

相談対応や行事等の共催・協力・講師の依頼件数の増加

OUTPUT

地域循環共生圏づくり事業の伴走支援：4 団体

中間支援組織等が行うイベント・セミナー等の開催協力：13 回

相談対応：**128** 件

情報発信：**1,714** 件（アクセス数：40,732 件）

＜中国地方 ESD 活動支援センター＞

OUTCOME

SDGs の達成や脱炭素社会の実現に向けた ESD の先駆的实践及び活動支援の展開

第 2 期 ESD 国内実施計画の推進に向けたビジョンやノウハウの形成

OUTPUT

ESD 学び合いフォーラムの開催：**1** 回、参加者：**46** 名

地域 ESD 活動推進拠点における事業支援：**2** 拠点

ESD 活動の支援：計 **54** 件（広島県 SDGs ビジネスコミュニティ：計 8 件（共催：2 件、出席：6 件）、東広島市教育委員会生涯学習課：計 16 件（講師：12 件、出席：4 件）、北栄町脱炭素ロードマップ策定支援：計 11 件（共催：1 件、出席：5 件）、安田女子大学プロジェクト支援：計 12 件（出席：12 件）、その他イベント等：計 11 件（共催：1 件、協力：2 件、講師：5 件、出席：3 件）、後援名義申請承諾：計 2 件

相談対応：**58** 件

情報発信：**296** 件（アクセス数：2,091 件）



30





EPO ちゅうごくのホームページ

(事業報告掲載参照) <https://epo-cg.jp/>

ANNUAL REPORT 2020-2022

<https://epo-cg.jp/activity/annual-report-2020-2022/>

日本海新聞 2021年10月17日(日)掲載

(4) 社会的インパクトを創出する事業

重点テーマの問題解決や価値創造を推進し、災害や新型コロナからの復興と次なる備え、環境・社会・経済が好循環する協働と仕組みづくりを図った。

①実施概要

NO	区分	事業名	事業内容	期間	場所	収益
4-1	継続	広島市公募型常設オープンスペース「つばさ（中区）」	広島市地域子育て支援拠点事業等に係る補助事業を活用した子育てオープンスペース（中区）の運営や親子の交流機会等の支援。	年間	広島市	自主財、補助金、利用料
4-2	継続	広島市公募型常設オープンスペース「いいね（南区）」	広島市地域子育て支援拠点事業等に係る補助事業を活用した子育てオープンスペース（南区）の運営や親子の交流機会等の支援。	年間	広島市	自主財、補助金、利用料
4-3	継続	中国5県休眠預金等活用コンソーシアム休眠預金活用事業 2019年度通常枠	中国5県のNPO支援センターと連携した休眠預金活用のためのコンソーシアム事務局の運営や助成事業の展開。	年間	中国地方	助成金
4-4	継続	中国5県休眠預金等活用コンソーシアム休眠預金活用事業 2020年度通常枠	中国5県のNPO支援センターと連携した休眠預金活用のためのコンソーシアム事務局の運営や助成事業の展開。	年間	中国地方	助成金
4-5	継続	中国5県休眠預金等活用コンソーシアム休眠預金活用事業 2021年度通常枠	中国5県のNPO支援センターと連携した休眠預金活用のためのコンソーシアム事務局の運営や助成事業の展開。	年間	中国地方	助成金

4-6	新規	中国 5 県休眠預金等活用コンソーシアム休眠預金活用事業 2022 年度通常枠	中国 5 県の NPO 支援センターと連携した休眠預金活用のためのコンソーシアム事務局の運営や助成事業の展開。	1～3 月	中国 地方	助成金
4-7	新規	災害支援活動	行政・社協・NPO 等と連携した災害復旧・復興や防災のための活動支援、関係機関との協働事業の展開。	年間	県内	自主財、寄付金

②実施結果

▶4-3 中国 5 県休眠預金等活用コンソーシアム「中国 5 県休眠預金等活用事業 2019」

▶4-4 中国 5 県休眠預金等活用コンソーシアム「中国 5 県休眠預金等活用事業 2020」

▶4-5 中国 5 県休眠預金等活用コンソーシアム「中国 5 県休眠預金等活用事業 2021」

▶4-6 中国 5 県休眠預金等活用コンソーシアム「中国 5 県休眠預金等活用事業 2022」

中国 5 県の NPO 支援センター（公益財団法人とっとり県民活動支援センター、公益財団法人ふるさと島根定住財団、特定非営利活動法人岡山 NPO センター、特定非営利活動法人ひろしま NPO センター、特定非営利活動法人やまぐち県民ネット 21）と連携したコンソーシアムにより、休眠預金等活用事業の資金分配団体を運営し、実行団体への助成金の配分及び伴走支援を行った。



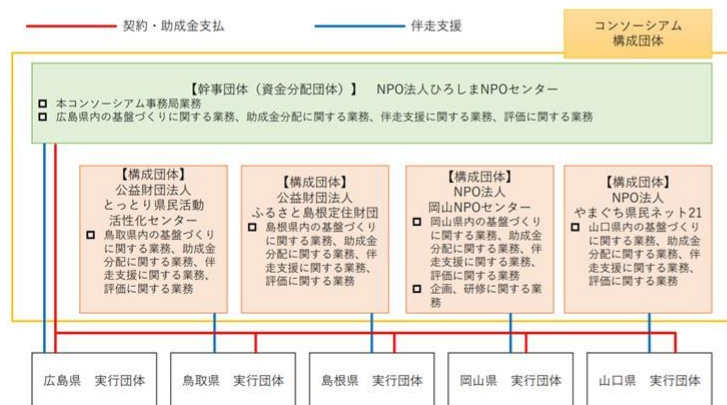
<実施概要>

I. 中国5県休眠預金等活用コンソーシアムについて



- 公益財団法人とっとり県民活動活性化センター
- 公益財団法人ふるさと島根定住財団
- NPO法人岡山NPOセンター
- NPO法人ひろしまNPOセンター
- NPO法人やまぐち県民ネット 2 1

- 中国5県中間支援組織連絡協議会として（ベテラン曰く）15年以上の関係性
- 年に2回の共同研修（誰でも参加可能！）
- 連携・協働事業



【休眠預金等活用事業の実績】

- 2019年度通常枠（草の根）
- 2020年度通常枠（草の根）
- 2020年度コロナ緊急枠1期
- 2020年度コロナ緊急枠2基
- 2021年度通常枠（草の根）
- 2022年度通常枠（災害） ※内定

II. 中国5県休眠預金等活用コンソーシアム休眠預金活用事業（2019通常）について



中山間地域・離島における
生業づくりとそれを支える仕
組みづくり

採択数1団体（申請1団体中）

助成額総額：22,352,160円

- ・助成金：20,000,000円
- ・評価費：1,000,000円
- ・緊急枠：1,352,160円



貧困や虐待の被害にある子
どもたちの生活再建を目的
とする拠点整備

採択数1団体（申請2団体中）

助成額総額：21,780,000円

- ・助成金：20,000,000円
- ・評価費：920,000円
- ・緊急枠：860,000円



「ひと」「しごと」「地域資源」
等の好循環モデル形成

採択数2団体（申請6団体中）

助成額総額：24,000,000円

- ・助成金：20,000,000円
- ・評価費：1,000,000円
- ・緊急枠：3,000,000円

公募
2020.1.27～2.28

審査会
2020.3.24

【審査委員】
岡崎昭博氏（中国労働金庫営業統括部営業企画課 課長）
小谷典子氏（山口大学 名誉教授）
藤原啓氏（㈱シース総合政策研究所 代表取締役社長）
和田広子氏（公益財団法人福武教育文化振興財団）

実行団体との契約
2020.4.24～8.1

契約終了
～2023.3.31

POによる伴走支援

Ⅱ. 中国5県休眠預金等活用コンソーシアム休眠預金活用事業 (2019通常)について



たすき株式会社（島根県雲南市）

場を通じた多世代・他業種の関わり合いとコレクティブな支援から、まちにチャレンジや生業を増やす事業

助成額総額：22,352,160円

- ・助成金：20,000,000円
- ・評価費：1,000,000円
- ・緊急枠：1,352,160円



認定NPO法人こどもシェルターモモ（岡山県岡山市）

児童養護施設等を退所後に困難を抱えた若者支援の充実・強化事業

助成額総額：21,780,000円

- ・助成金：20,000,000円
- ・評価費：920,000円
- ・緊急枠：860,000円



NPO法人湯来観光地域づくり公社（広島県広島市）

湯来町の課題を解決する、収益性の高い観光モデル構築事業

助成額総額：13,500,000円

- ・助成金：10,000,000円
- ・評価費：500,000円
- ・緊急枠：3,000,000円



NPO法人NPO狩留家（広島県広島市）

狩留家特産「狩留家なす」の物流センターを整備し地域の活性化を推進する

助成額総額：10,500,000円

- ・助成金：10,000,000円
- ・評価費：500,000円
- ・緊急枠：0円

<広島県内の実施概要>

2019 通常	テーマ	「ひと」「しごと」「地域資源」等の好循環モデル形成
	採択団体	特定非営利活動法人湯来観光地域づくり公社 特定非営利活動法人 NPO 狩留家
2020 通常	テーマ	生きづらさを抱える人が、働くことを通じて自分らしく暮らすことができるサポート事業
	採択団体	特定非営利活動法人ブエンカミーノ
2021 通常	テーマ	中山間地域を担う生業づくり
	採択団体	特定非営利活動法人三段峡-太田川流域研究会 一般社団法人フウド
2022 通常	※資金分配団体に応募申請し採択された。	



中国 5 県休眠預金等活用コンソーシアム公式ページ
(事業報告掲載) <https://kyumin-chu5.npoc.or.jp/>

2019 通常枠の報告書
<https://kyumin-chu5.npoc.or.jp/information/chu5/1328/>